

心エコー図検査によって 左房内の異常構造を認めた1例

A Case of Abnormal Structure in the Left Atrium by Transthoracic Echocardiogram

紫原 美和子* 兼行 雅司 本多 亮博

Miwako SHIHARA, MD, PhD*, Masashi KANEYUKI, MD, Akihiro HONDA, MD

大牟田市立病院循環器内科

症 例 66歳女性.

主 訴: 動悸.

既往歴: 高血圧症, 両下肢静脈瘤.

現病歴: 2001年8月, 2:1発作性心房粗動による心不全のため入院. 以後も発作性心房粗動を反復するため2006年7月精査・加療目的で入院となった. II音亢進と胸骨左縁第3肋間にて収縮期雑音を聴取し, 非発作時安静時12誘導心電図では不完全右脚ブロックを認める. 経胸壁心エコー検査での傍胸骨左縁左室長軸断面像(図1)および心尖部四腔断面像(図2)を示す. この心エコー所見から考えられる疾患名は?

J Cardiol Jpn Ed 2011; 6: 100-102

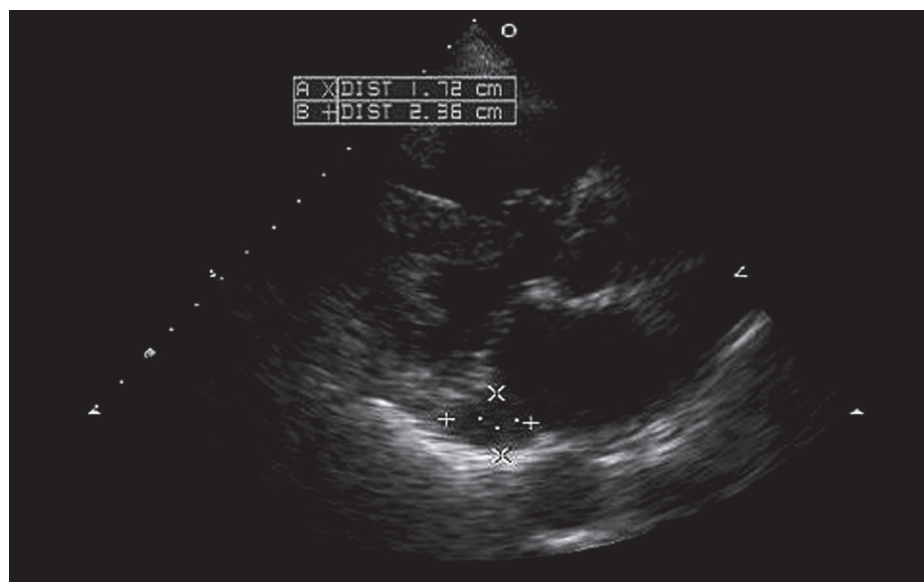


図 1

* 大牟田市立病院循環器内科

836-8567 大牟田市宝坂町 2-19-1

E-mail: junkan06@ghp.omuta.fukuoka.jp

2010年10月6日受付, 2010年11月9日受理

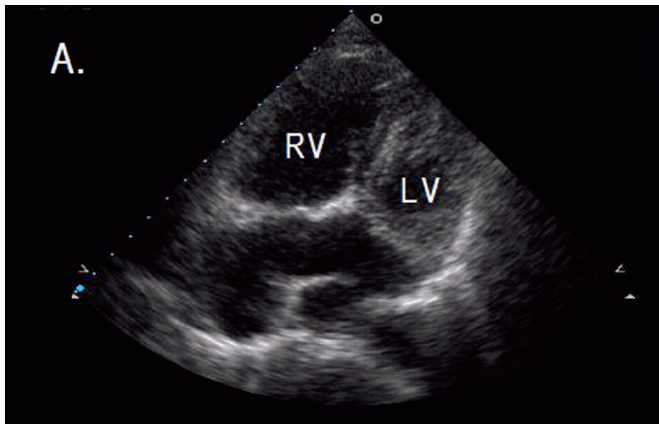


図 2A

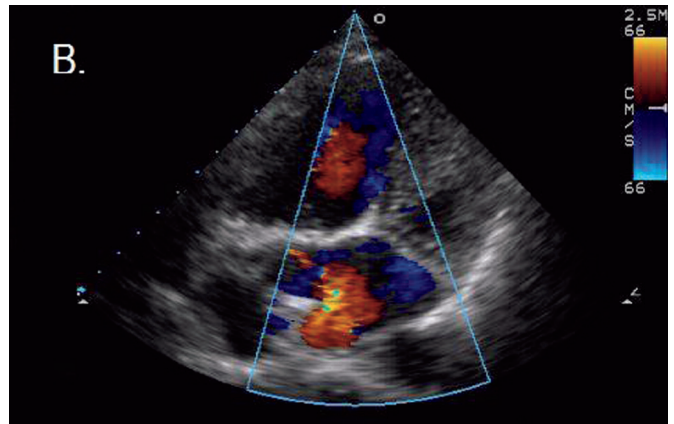


図 2B

診断のポイント

図1では冠静脈洞の拡大 (17.2 × 23.6 mm) を認める。図2Aでは左房を横切る隔壁を認め、右房に開口する異常管腔構造を認めた。隔壁の一部には欠損孔を認め欠損孔を介したflowが確認された(図2B)。すなわち、異常管腔は冠静脈洞に相当し左房から欠損孔を介して冠静脈洞へ血液が流入しており、unroofed coronary sinusと考えられる。心エコー上、右心房・右心室の拡大を認め、Qp/Qsは2.0、三尖弁逆流から算出された推定右室圧は51 mmHgと肺高血圧を認めた。さらに、64列 multidetector-row CT (MDCT) を用いて解剖学的・形態学的構造を検討した結果、冠静脈洞の一部と左房の交通を確認することができた(図3,4)。

Unroofed coronary sinusは冠静脈洞と左房の間の隔壁が完全または部分的に欠損するため心房レベルで左右短絡を生じる疾患である。冠静脈洞の発生異常として従来の冠静脈洞型心房中隔欠損症、左房冠静脈洞異常交通症、冠静脈洞欠損を包括した疾患と考えられている。症状や臨床所見のみでは診断は容易ではなく、心房中隔欠損症が疑われるにもかかわらず、断層心エコー法やドプラ法で通常の位

置に欠損孔を確認できない場合には、部分肺静脈灌流異常や静脈洞型心房中隔欠損症のほかに本症を鑑別する必要がある。断層心エコー法にて隔壁は右房に開口しており冠静脈洞と考えられること、カラードプラ法で左房と交通があることから診断が可能であるが、最近ではMDCTも診断のツールとして有用である。

治療は、交通孔の閉鎖術であるが、本症では左上大静脈遺残を伴うことが多く、その場合には左上大静脈遺残に対する処置も必要である。本症例では、コントラストエコーおよびMDCTにおいても左上大静脈遺残の合併は認められなかった。治療については、本症例ではQp/Qs 2.0であることや肺高血圧症も有しているため手術適応と考えられるが、現在は内科的治療により心房粗動・心不全ともに落ち着いており経過観察中である。

Diagnosis: 非天蓋冠静脈洞。

Keywords: 心臓欠損, 心エコー法, 診断技術, 先天性心疾患 - 心欠損

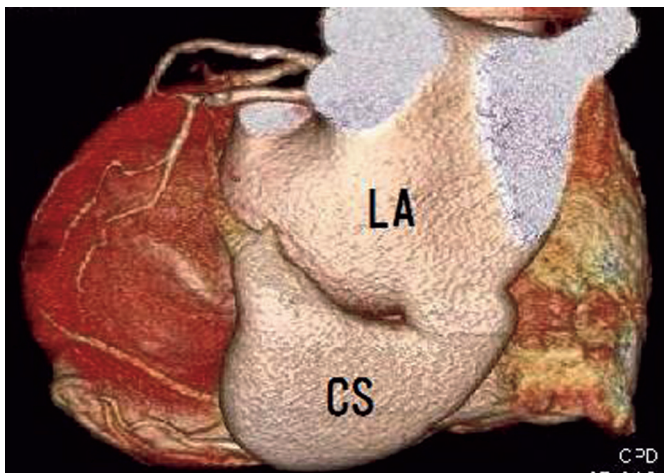


図 3

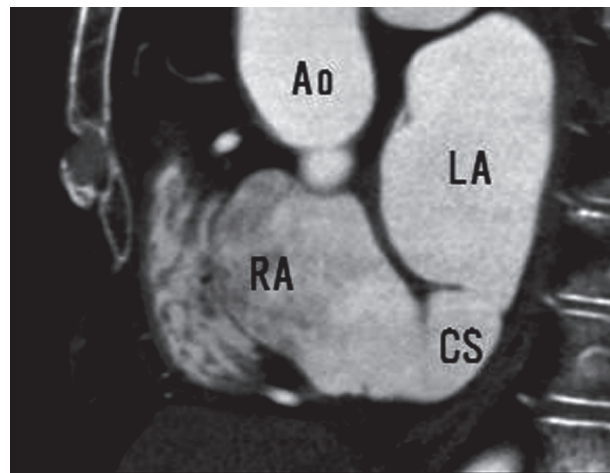


図 4

図 1 経胸壁心エコー図 (傍胸骨左縁左室長軸断面像).
冠静脈洞の拡大を認める (17.2 × 23.6 mm).

図 2 A: 経胸壁心エコー図 (心尖部四腔断面像) と B: 経胸壁心エコー図 (心尖部四腔断面カラードプラ像).

A: 左房を横切る隔壁を認め、右房に開口する異常管腔構造を認めた. 左房と異常管腔構造の間には一部欠損孔を認めた. B: カラードプラでは、左房から欠損孔を介して異常管腔構造へ血液の流入を認めた. 異常管腔構造は拡大した冠静脈洞に相当する.

図 3 MDCT (volume rendering 法).
左房と冠静脈洞の間に一部交通を認める.

図 4 MDCT (矢状断).

左房と冠静脈洞の間に一部交通を認め、unroofed coronary sinus と考えられる.